

(令和7年4月)

種 類	市況の概要
(青果部の動向) 青 果 全 般	4月の総入荷量は、定植時の高温や生育時の低温・乾燥など天候不良の影響で品質や収穫量の低下がみられ、前年同月比で5%下回った。総取扱金額は、葉菜類を中心に長引く高値の影響から需要が減少し、8%下回った。今後も引き続き生育初期における天候不良の影響で入荷量が平年を下回る品目が出ることが予想される。 5月は、野菜では、実山椒や実えんどうが最盛期を迎え、青梅の入荷が始まる。果実では、マンゴーや桜桃の入荷が増え、メロン類が最盛期を迎える。
野 菜	野菜全般の入荷量は前年同月比で4%下回ったが、長引く高値の影響から需要が減少し、単価は5%下回った。 根菜類の入荷量は前年同月比で11%下回り、単価は8%上回った。 葉菜類の入荷量は前年同月並みであったが、単価は19%下回った。 果菜類の入荷量は前年同月比で5%下回ったが、長引く高値の影響から需要が減少し、単価は15%下回った。 土物類の入荷量は前年同月比で7%下回り、単価は32%上回った。
果 実	果実全般の入荷量は前年同月比で7%下回り、単価は3%上回った。 かんきつ類の入荷量は前年同月並みであったが、単価は6%上回った。 りんご類の入荷量は前年同月比で5%下回り、単価は4%上回った。 いちご類の入荷量は前年同月並みであったが、単価は3%下回った。 メロン類の入荷量は前年同月比で24%下回り、単価は8%上回った。

主要品目（野菜）	市況の概況
【根菜類】 長だいこん 西洋にんじん たけのこ	香川、長崎、滋賀、千葉、鹿児島などから入荷した。入荷量は前年同月比で１１％下回ったが、中旬以降の品薄で単価が高騰した前年と比較して単価は９％下回った。 徳島を中心に、長崎などからも入荷した。入荷量は前年同月比で６％下回り、単価は６％上回った。 京都を中心に、徳島、福岡などからも入荷した。入荷量は前年同月比で２５％下回り、単価は４１％上回った。
【葉菜類】 はくさい キャベツ ほうれんそう レタス	茨城を中心に、長崎、兵庫、宮崎などからも入荷した。入荷量は前年同月比で１２％上回り、単価は１９％下回った。 愛知を中心に、滋賀、神奈川などからも入荷した。入荷量は前年同月比で７％下回ったが、輸入品の増加により単価は２７％下回った。 福岡、茨城、京都を中心に、岐阜、滋賀などからも入荷した。入荷量は前年同月比で３％上回り、単価は１４％下回った。 兵庫、徳島、長崎を中心に、岡山などからも入荷した。入荷量は前年同月比で１０％下回ったが、長引く高値の影響から需要が減少し、単価は３４％下回った。

【果菜類】

きゅうり

宮崎を中心に、滋賀、高知、佐賀、福岡などからも入荷した。入荷量は前年同月比で４％上回り、単価は２８％下回った。

なす

高知を中心に、岡山などからも入荷した。入荷量は前年同月比で８％上回り、単価は１８％下回った。

とまと

熊本、福岡を中心に入荷した。入荷量は前年同月比で１５％下回ったが、長引く高値の影響から需要が減少し、単価は８％下回った。

ピーマン

宮崎、高知、茨城、鹿児島などから入荷した。入荷量は前年同月比で１５％上回り、単価は１９％下回った。

【土物類】

ばれいしょ
(メイクイン含む)

鹿児島、北海道を中心に入荷した。入荷量は前年同月比で１３％下回り、単価は７２％上回った。

たまねぎ

北海道、長崎を中心に、兵庫などからも入荷した。入荷量は前年同月比で５％下回り、単価は１６％上回った。

主要品目（果実）	市況の概況
甘夏かん	鹿児島を中心に、福岡、熊本、愛媛、和歌山などからも入荷した。入荷量は前年同月比で１３％下回り、単価は６％上回った。
清美オレンジ	和歌山を中心に入荷した。入荷量は前年同月比で８１％上回ったが、単価は前年同月並みであった。
富士 (サン富士含む)	青森から入荷した。入荷量は前年同月比で１１％下回り、単価は９％上回った。
いちご	福岡、大分、熊本、佐賀、長崎などから入荷した。入荷量は前年同月並みであったが、単価は３％下回った。
アールスメロン	静岡、高知を中心に入荷した。入荷量は前年同月比で８％上回り、単価は１１％下回った。
大玉すいか	熊本を中心に入荷した。入荷量は前年同月比で３３％下回り、単価は２５％上回った。